

【国営明石海峡公園 淡路地区】今後の公園づくりの方針の概要 <検討案>

1. 国営明石海峡公園 淡路地区の概要

国営明石海峡公園は、明石海峡大橋を挟んだ周辺地域の広域的なレクリエーション需要に応えるため、兵庫県淡路市の『淡路地区』と神戸市北区、西区の『神戸地区』の2地区で整備を行っている全体計画面積330haの国営公園です。

基本テーマ『自然と人との共生、人と人との交流』

淡路地区は、「海辺の園遊空間の創造」を目指し、高度成長期に緑を失った大規模土取り場跡地において、自然再生と交流空間の整備を隣接施設と連携して進めており、平成14年3月に一部開園しました。

平成28年4月現在、計画面積(96.1ha)の約42%となる40.4haが開園し、年間50万人を超える利用者を数えています。



月のテラス：紀淡海峡につながるダイナミックな風景が楽しめる。



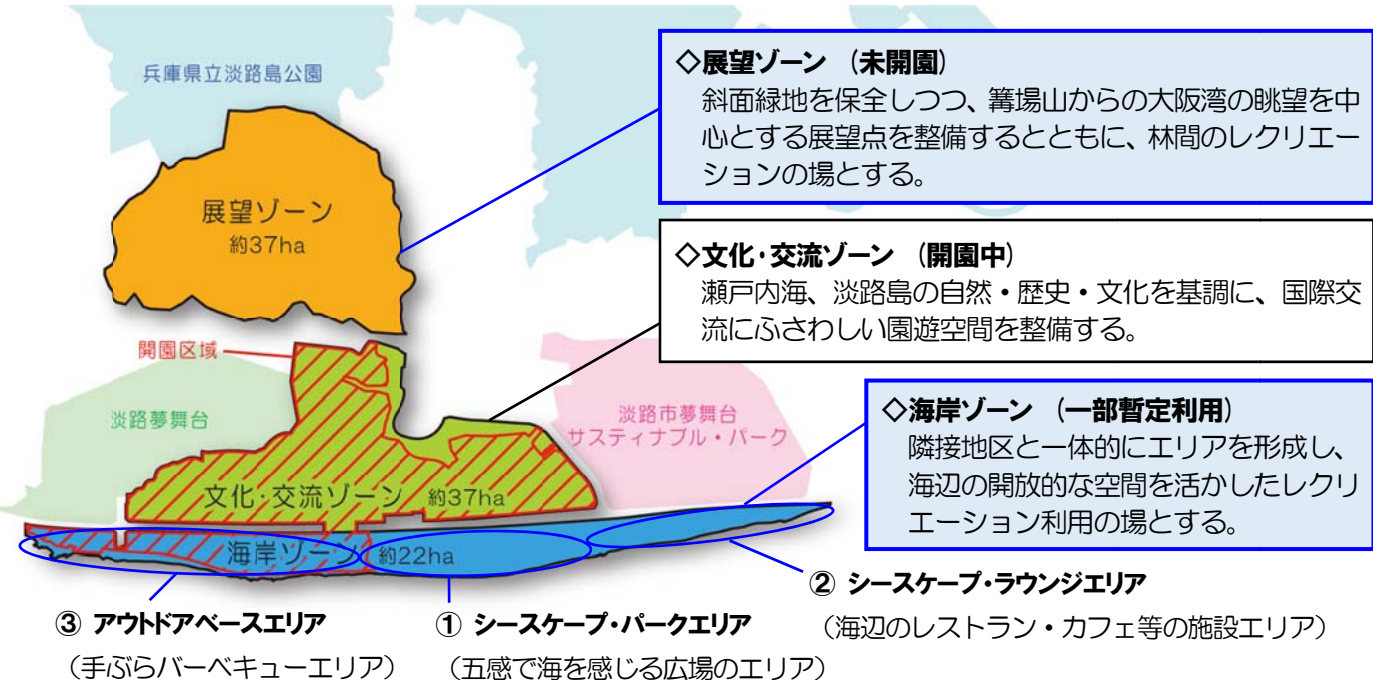
大地の虹：年間を通じて季節の花々がまるで虹のように咲く。



■ 国営明石海峡公園淡路地区の整備状況

2. 今後の公園づくりの対象範囲

今後の公園づくりの主な対象範囲は、「海岸ゾーン」、「展望ゾーン」です。



3. 今後の公園づくりの方針

- ・明石海峡大橋を都市の日常から抜け出すゲートウェイとして、気分を“リセット”して、ゆっくりとした贅沢な時間を約束する淡路島体験へと誘う拠点となる公園を目指します。
- ・花の景色づくりを中心としたエリアに加え、「国生みの島」の神話の舞台となった海の眺めと波音や香り、陽のひかり、風を五感で感じられる場所を提供し、魅力をアップします。
- ・海と山の自然に包まれながら、アウトドアのアクティビティやスポーツを楽しむことができる開放的な場所を提供します。

(1) 海岸ゾーン

淡路夢舞台などの隣接地区と一体的にエリアを形成し、海辺の開放的な空間を活かしたレクリエーション利用の場とします。以下の3つのコンセプトのエリアにより、特徴のある公園づくりを行います。

① シースケープ・パークエリア(五感で海を感じる広場のエリア)

- ・大阪湾を望む高台の広場、波音を聞きながら景色を楽しむテラスや、海を五感で感じられるデッキでのんびり過ごし、海辺に続く園路を歩いてこれらのスポットを巡るなど、季節ごと、時間ごとに表情を変える多彩な海の魅力を楽しめるエリアにします。
- ・普段は見かけない海岸を彩る植物が、日常から離れた気分を感じさせる空間をつくります。
- ・約3haの芝生の多目的広場は、海の広がりを感じられる開放的な空間にします。



しおさいテラス (イメージ)



海辺のデッキ (イメージ)

② シースケープ・ラウンジエリア (海辺のレストラン・カフェ等の施設エリア)

- ・民間活力の導入により、海の眺望をテーマとしたレストラン・カフェ、物販や体験型サービスを提供する施設を集めるエリアにします。
- ・海辺をイメージした統一感のあるデザインによって、洗練された質の高い空間づくりを行います。
- ・海岸プロムナードの海の景色を楽しみながら、食事や買い物、クラフトなどの体験を楽しめる場所を目指します。



シースケープ・ラウンジエリア (イメージ)

③ アウトドア・ベースエリア(手ぶらバーベキューエリア)

- ・バーベキュー広場の再整備を行い、手ぶらバーベキューを中心として、ホテル並みのサービスが整えられたグランピングや本格的な屋外クッキングなど、質の高い海辺のアウトドア体験ができるエリアにします。



アウトドア・ベースエリア (イメージ)

(2) 展望ゾーン

- ・ゾーンの中心になる篝場山(かがりばやま)の山頂からの大阪、和歌山を望む大阪湾のパノラマ景観を楽しめるゾーンとします。
- ・眺望を楽しみながらトレッキングや、ロープを使った木登り体験(ツリーイング)など、林間アクティビティを楽しめる場とします。



篝場山(かがりばやま)山頂からの眺望